

ゆきみらい第19号  
平成23年6月14日

やまがたゆきみらい推進機構  
会 員 各 位

やまがたゆきみらい推進機構事務局長

真夏の親子雪体験バスツアーの実施について（通知）

当機構の事業推進につきましては、日頃からご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「真夏の親子雪体験バスツアー」を実施することになりましたので、下記によりご案内申し上げます。

これは、真夏の雪体験をとおして、子供たちが雪に対する興味を深め、環境や暮らし、自然科学など様々な視点から雪を見る目を養う機会とするものです。

つきましては、多数ご参加くださるようご案内申し上げます。また、知人友人の方などにもご紹介いただければ、幸いです。

記

1. 実施日時：平成23年8月6日（土）午前8時30分から午後4時30分まで
2. 内 容：「真夏の親子体験バスツアー」実施要領参照
3. 申込期日：平成23年7月22日（金）まで  
別添、参加申込書に記入のうえ事務局まで送付願います。

担当：やまがたゆきみらい推進機構事務局  
村山総合支庁北村山総務課  
雪プロジェクト推進班  
渋谷、三浦、五十嵐  
TEL. 0237-47-8614 / FAX. 0237-55-5236  
Email: [ykitamurasomu@pref.yamagata.jp](mailto:ykitamurasomu@pref.yamagata.jp)

## 「真夏の親子雪体験バスツアー」実施要領

### 1. 目的

この夏に向けて、冷房などによる電力需要が増加し、供給量不足が懸念されるため一層の節電が求められている。電力を多く消費する電気冷房に比べ、夏まで保存した雪を利用する雪冷房は、節電に有効でありCO<sub>2</sub>排出削減などの効果もある。雪冷房を導入する施設は北海道に多く見られるが、平成6年に世界で初めて導入したのが、舟形町の農林漁業体験実習館である。

また、この冬は平成18年豪雪以来となる大雪に見舞われ、全国で雪による被害が発生し、改めて雪害対策の重要性を認識させられた。新庄市雪の里情報館は、雪国の生活を改善するため昭和8年に設置された国の機関「積雪地方農林経済調査所」の流れをくみ、「雪害救済運動」を受け継ぐ施設として克雪対策の歴史の伝承や、雪国文化の情報発信の拠点施設となっている。

さらに、(独)防災科学研究所雪氷防災研究センター新庄支所は、世界最大規模の人工降雪装置を用いた雪氷災害に関する多くの研究が行われ、その成果は雪害対策に大きく寄与している。

このように、本県は雪害救済運動発祥の地であり、また克雪・利雪技術の研究や実用化を先駆的に取り組んできた。こうした土壌を次の世代につなぐため、雪国やまがたの将来を担う子供たちに、雪に親しみ雪に対する興味や探究心を育む機会を提供するものである。

2. 実施日時：平成23年8月6日(土) 午前8時30分～午後4時30分

3. 発着場所：① 村山総合支庁 本庁舎正面玄関前 8:15集合、8:30出発  
(山形市鉄砲町2-19-68)  
② 村山総合支庁 北庁舎正面玄関前 9:25集合、9:45出発  
(村山市楯岡笛田4-5-1)

4. 行程：(1)舟形町農林漁業体験実習館 (最上郡舟形町小田山2679) 10:45～11:05  
《世界初の雪冷房システムを見学する》  
(2)新庄市雪の里情報館 (新庄市石川町4-15) 11:20～13:00  
《克雪の歴史や雪国の文化を学ぶ》 (昼食時間を含む)  
(3)(独)防災科学技術研究所  
雪氷防災研究センター 新庄支所 (新庄市十日町1400) 13:05～14:15  
《-10℃の実験室で雪や氷を観察したり吹雪を体験する》  
(4)休憩:道の駅尾花沢 花笠の里ねまる (尾花沢市芦沢1195-1) 14:40～15:00  
(5)村山総合支庁北庁舎 到着 15:30  
(6)村山総合支庁本庁舎 到着 16:30

5. 募集人数：県内在住の小学生(小学3～6年生程度)と保護者など引率して下さる方 約40名  
※子供さん単独での参加は出来ませんが、ご家族の方以外でも引率して下さる大人と一緒に  
であれば参加可能です。

6. 参加費：昼食弁当代として1人当たり500円程度

7. 申込期限：平成23年7月22日(金)まで(申込み多数の場合は抽選)

8. 申込み方法：別紙、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込みをお願いします。  
なお、参加申込書の注意事項は必ずお読みくださるようお願いいたします。

9. 主催：山形県、やまがたゆきみらい推進機構

10. お申込み・問合せ先：山形県村山総合支庁 北村山総務課 雪プロジェクト推進班 渋谷、三浦、五十嵐  
TEL:0237-47-8614 / FAX:0237-55-5236



# 真夏の親子雪体験

## バスツアー

夏だから、冬とはまた違った側面から雪を探求します。雪と環境、雪と生活、雪と科学をテーマに雪を体験し、子供たちの雪に対する興味を深めます。

いつ **平成23年8月6日** 土

### 《 集合場所と時間 》

集合場所①: 村山総合支庁【本庁舎】正面玄関前 午前8:15集合、午後8:30出発  
(山形市鉄砲町2-19-68)

集合場所②: 村山総合支庁【北庁舎】正面玄関前 午前9:25集合、午後9:45出発  
(村山市楯岡笛田4-5-1)

### 見学施設

#### ・舟形町農林漁業体験実習館

雪と環境をテーマに、雪を利用する環境に優しい雪冷房システムを見学します。

#### ・新庄市雪の里情報館

雪と生活をテーマに、克雪の歴史や雪国の文化を学びます。

#### ・雪氷防災研究センター新庄支所

雪と科学をテーマに、吹雪体験や雪の結晶、ダイヤモンドダストなどを観察します。

### 行程

村山総合支庁本庁舎(8:30 出発) ⇒⇒ 村山総合支庁北庁舎(9:45 出発) ⇒⇒  
舟形町農林漁業体験実習館(10:45 ~ 11:05) ⇒⇒ 新庄市雪の里情報館(11:20  
~ 昼食 ~ 13:00) ⇒⇒ 雪氷防災研究センター新庄支所(13:05 ~ 14:15) ⇒⇒  
休憩: 道の駅尾花沢(14:40 ~ 15:00) ⇒⇒ 村山総合支庁北庁舎(15:30 到着・解  
散) ⇒⇒ 村山総合支庁本庁舎(16:30 到着・解散)

### 募集人数

県内在住の小学生(小学3~6年生程度)と保護者など引率して下さる方 約 **40** 名  
(子供さん単独での参加はできませんが、ご家族の方以外でも引率して下さる大人と一緒に  
あれば参加可能です。)

### 参加費

昼食弁当代として、一人当たり500円程度

### お申込み

#### 《お申込み方法》

裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記担当までお申込み願います。  
山形県村山総合支庁北村山総務課 雪プロジェクト推進班 渋谷、三浦、五十嵐  
TEL: 0237-47-8614, FAX: 0237-55-5236, E-mil: ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

#### 《お申込み期限》

**平成23年7月22日(金)まで** (申込み多数の場合は抽選)

お申込みは、お早めに!

《 主催 : 山形県、やまがたゆきみらい推進機構 》



# 平成23年8月6日（土）実施 「真夏の親子雪体験バスツアー」参加申込書

山形県村山総合支庁 北村山総務課 雪プロジェクト推進班あて

TEL:0237-47-8614 / FAX:0237-55-5236

E-mail:ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

平成23年8月6日（土）に実施する「真夏の親子雪体験バスツアー」に申し込みます。

氏名	〒住所	電話 FAX	年齢	バス乗降所 (いづれいかを ○で囲む。)	備考
やまがた たろう 例) 山形 太郎	990-0023 山形市松波○-○-○	tel:023-999-9999 fax:023-111-1111	40	本庁舎 北庁舎	保護者
やまがた はなこ 例) 山形 花子	同上	同上	10	本庁舎 北庁舎	小4
むらやま ようこ 例) 村山 葉子	995-0024 村山市楯岡○-○-○	tel:0237-88-8888 fax:0237-22-2222	10	本庁舎 北庁舎	小4

\*お送りいただいた情報は、「真夏の親子雪体験バスツアー」以外には使用しません。

## ★★注意事項★★

- ①上記表中に記載のバス乗降所で「本庁舎」は、村山総合支庁本庁舎(山形市鉄砲町)、「北庁舎」は、村山総合支庁北庁舎(村山市楯岡)となります。
- ②子供さん単独では参加できませんが、ご家族の方以外でも引率して下さる大人と一緒にあれば参加可能です。
- ③参加者は、一日保険に加入します。なお、費用負担や手続きは主催者が行います。
- ④持ち物は、防寒着(上着)、筆記用具をご持参ください。  
(防寒着は、雪氷防災研究センター新庄支所の降雪装置による吹雪体験で使用します。)
- ⑤移動中の飲み物などは、各自でご準備願います。

## ♪♪昨年参加した児童、保護者の感想♪♪

### \* 尾花沢市役所の雪冷房

夏でも雪をためて、クーラーにできることは、とても便利だとおもいました。(小学5年)

### \* 新庄市雪の里情報館

むかしのはこぞりが、けっこう大きかった。むかしのやねはゆきがすごくおちるんだと思いました。(小学3年)

### \* 雪氷防災研究センター新庄支所

夏にあんなに寒いところに入れたり本物の雪もさわって夏にピッタリと思いました。(小学5年)

真夏の吹雪体験を楽しみにしていました。南極の氷を見たり、結晶をみたり、雪はじゃまだけど、利用の仕方によって環境にやさしくエコ。(保護者)